

Messerschmitt Me109

1/48 メッサーシュミットMe109 G-K



1939年、ドイツ軍のポーランド侵攻によって第2次大戦の幕は切って落された。当時のドイツ空軍ルフトヴァッフェの主力戦闘機は、エミールの愛称をもって呼ばれるMe109 E型。翌1940年、英仏連合軍は、ドイツ軍のブリックリグによりフランダースの平野に壊滅し、戦いの場は、英国本土の空へと移った。バトル オブブリテンとして有名なこの航空決戦が一段落した1940年末、Me109は、新型の“フリッ”F型として生まれ変わっていた。1941年6月、バルバロッサ作戦開始。北部、中央部、南部の3個軍集団におかれてロシア侵攻を開始したドイツ陸軍の大機甲部隊をエスコートしたのは、3000機からなるこれらMe109 E型及びF型であった。同時期に、一進一退のすさまじい攻防戦を展開していたアフリカ戦線へも多数の“エミール”と“フリッ”が送られた。1942年5月、F型の性能改善に見切りをつけたドイツ兵器廠は、新型Me109Gの生産を開始した。“グスタフ”の登場である。

F型とG型の主な相違点は、その発動機にある。すなわち、FではDB601E型1300馬力エンジンを装備したのに対し、G型は、同エンジンのパワーアップ型であるDB605 A1、1475馬力を装備した。エンジンの換装により増加した重量に対処してタイヤは太いものに変えられホイールハブの形状も改められた。又、このタイヤをクリアーするため翼上面にふくらみがつけられた。風防も前面防弾ガラスが標準装備となったガッシリした形状のものとなった。

G型の最初のプロトタイプG-0は、F型と同じDB601E発動機を装備し、12機が生産された。続いて生産されたG1において発動機は、DB605 A1にあらためられる。標準武装は、MG151、20ミリ機関砲1門、7.9ミリ機銃2挺。操縦席は、最高度での戦斗を考慮して与圧式となっている。このG1をアフリカ戦線用としたのがG1/Tropで空気取入口に防砂用のフィルターを装備し武装も7.9ミリから13ミリ2門へと増強されている。この13ミリ機銃を取納するためキャビンの前にふくらみがつけられたが、このふくらみによってMe109Gは、グスタ

フの他にボイレ（こぶつき）と言うあだ名も頂戴した。G2は、武装を7.9ミリ機銃2挺とした偵察型でコックピットも非与圧式となっている。G2R1は、大型爆弾一個と補助燃料タンク2個を搭載する特殊型でキャビンの直下に大型の投下式車輪を装備している。G3では、それまでのFuG7A型にかわる新型無線機FuG16Zを装備する。与圧キャビン、外観等はG1型と略同型である。G4はG3の非与圧型。G5になって発動機は、メタノール・水噴射装置と過給器を備えたDB605 Dに換装された。最大1800馬力を発生するこのエンジンによってG5型は、1万2千メートルの上昇限度と640キロ以上の最高速度を出すことができた。しかしながらこの強大な馬力は、グスタフにとって少しばかりオーバーパワーであり、そのため操縦性がかなり悪化してしまった。これを少しでも改善しようと背の高い木製の垂直尾翼と長い尾輪をつけたのがG5 R2。なおG5の標準武装は、13ミリ機銃2挺と20ミリモーターカノン1門である。

続くG6は、Gシリーズ中最も多く生産された機体である。G6は、その迎撃機格的性格の最も強い型で、標準武装として13ミリ機銃2挺と新型のMK108、30ミリモーターカノン1門を装備する。その他、翼下にMG151、20ミリ砲2門を装備するのがG6 R6、さらにこれを30ミリ砲2門に換装したのがG6 R4及びG6 U4である。これらの機体は、連合軍爆撃機の迎撃には絶大な威力を発揮したが対戦機戦では、その重武装の故に非常に不利な立場に立たされた。G6 U4にナクソスZ式レーダー装置をつけた夜戦型G6 U4 Nはウィルデ ザウと呼ばれる夜間戦斗戦術においてFw190 A5 U2 Nと組んで非常に活躍を示した。コックピット後部の回転式ルーブアンテナが識別点である。G6 R1は、戦斗爆撃機として機体下面に大型の爆弾架を装着し500キロ爆弾の搭載が可能であった。G6 R2は、翼下面にWG21型21センチロケット弾発射筒2基を装備する地上攻撃機型であるがこのロケットチューブのため操縦性が著るしく阻害されたため後に普通の機関砲に換装された。これらG6は、資材の関係からDB605 AM、AS、

ASB、ASM、D等各種の発動機が取付可能であった。1943年末までに約6500機のG型が生産され軍に引渡されている。G7はペーパープランのみ。G8は武装を機銃2門としカメラを装着した偵察機型。G9もペーパープランのみ。G10に致って発動機は、DB605 G（MW50出力増大装置付）に換装された。この型はMe109G中最速をほこり、7400メートルの高度で688キロ、6000メートルまでの上昇時間6分と言う高性能を発揮した。標準武装は、MK108、30ミリモーターカノン1門、13ミリ機銃2門、後に追加として機体下面に30ミリ砲2門を取納するポッドを付けた。この型はG10 U4と呼ばれる。G10 R2は例の木製尾翼と新型ゲラランド風防を装着。G10 R6は、この他にFU G252型識別用電子装置を搭載している。G11はペーパープランのみ。G12は、複座式とした練習機型。G13およびG15はペーパープランのみであり。Gシリーズ最後の量産型G14は、基本的にはG6と略同型であるがゲラランド風防、木製尾翼、尾輪等が異なる。発動機はDB605 A、AM、AS、ASB、ASM、ASDのいずれかを装着している。標準武装は、20ミリMK1門、13ミリMG2門。必要に応じて翼下面に20ミリ砲2門を追加装備することができた。又、さらに20ミリ2門を追加装備する重武装型と250キロ爆弾を懸架できる爆撃機型とがある。G16は、機体下面に装甲板を装着した地上攻撃機型。Me109の最終生産型はKシリーズである。K型は1944年秋から実戦に参加し全部で14の型式があるが実用化されたのはK2、K4、K6、K14の4つの型だけである。Kは基本的にはGの改良型であり、DB605 D増力器付発動機のみがG型との大きなちがいであった。この発動機によりK4型では高度6000メートルにおいて727キロの最高速を出すことができた。K2、K4の標準武装は30ミリMK1門、13ミリMG2門、K6はこれに翼下面の30ミリ砲2門が追加される。G型の総生産機数は約1万5千機、大戦中ドイツのみならずブルガリア、フィランド、ルーマニア、チェコ、ハンガリー等でも使用され大戦後もチェコ、スペイン等で長く使用されその憂愁を飾った。

部品表

1. 胴体 (左)
2. 胴体 (右)
3. 主翼上面 (右)
4. 主翼上面 (左)
5. 主翼下面
6. 垂直尾翼 A (右)
7. " (左)
8. " B (右)
9. " (左)
10. 水平尾翼 (左)
11. " (右)
12. 操縦席床板
13. シート
14. モーターカノンカバー
15. コクピット小部品 1
16. 操縦桿
17. コクピット小部品 2
18. " 3
19. " 4
20. " 5
21. " 6
22. " 7
23. 計器パネル
24. 照準器
25. バルクヘッド
26. フートペダル
27. 排気管 (右)
28. " (左)
29. ラジエーター部品
30. オイルクーラーカバー
31. オイルクーラー部品
32. 主輪脚柱 (右)
33. " (左)
34. 主脚カバー (左)
35. " (右)
36. 主車輪
37. 主輪ハブ A
38. トルクリンク
39. 尾輪脚柱
40. 尾輪
41. マスバランス
42. エアインターク (下)
43. " (上)
44. サンドフィルター
45. サンドフィルターキャップ
46. 機銃 (胴体頭部)
47. スピナ部品
48. プロペラ
49. プロペラシャフト
50. スピナ
51. ビトー管
52. アンテナマスト
53. ロケット弾
54. ロケット弾チューブ (下)
55. " (上)
56. 20%機銃 (翼下)
57. ガンバック
58. ロケット弾チューブ懸架(後)
59. " (前)
60. 増槽タンク架
61. 250ℓ増槽タンク (左)
62. " (右)
63. 増槽タンク懸架
64. 500kg爆弾 (左下)
65. " (右上)
66. 爆弾架
67. 13%機銃カバー (左)
68. " (右)
69. 爆弾懸架
70. 防弾板
71. ループアンテナ
72. 主輪ハブ (B)
73. パイロット

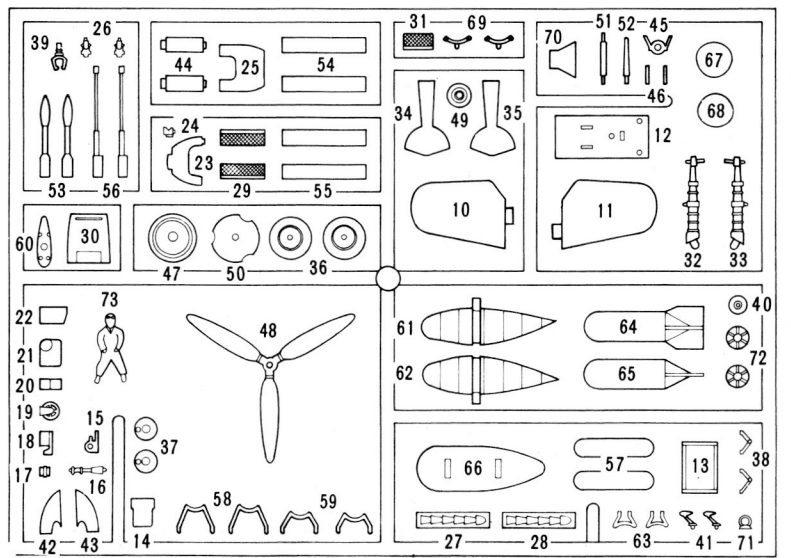
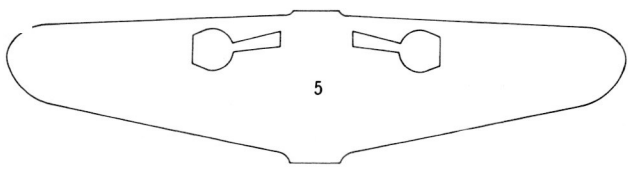
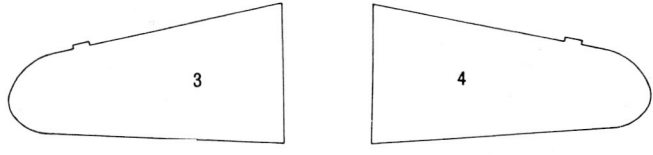
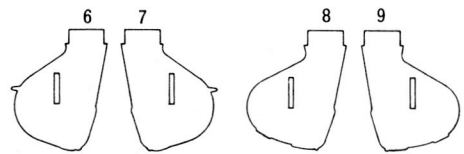
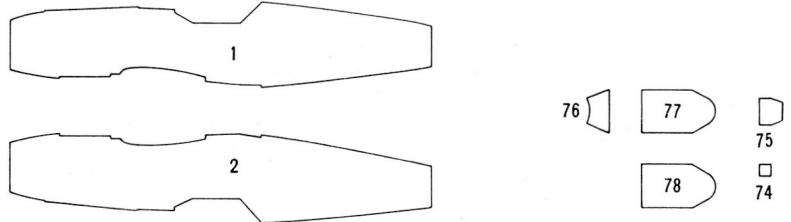
74. 照準板
75. 防弾ガラス
76. 風防前部
77. " 後部
78. ガーランドフード

家庭用品品質表示法による接着剤品質表示
 取扱い上の注意
 1. 幼児の手の届かないところに保存し、いたづらをしない様注意して下さい。
 2. 火気に注意し換気をよくして下さい。
 3. 故障に吸わない様注意して下さい。
 表示者 S Z.3000 S Z.3006 S Z.5013

部品を取出した空袋は、幼児が触ったりしない様に破りして下さい。

★くみだてる前にお読みください★

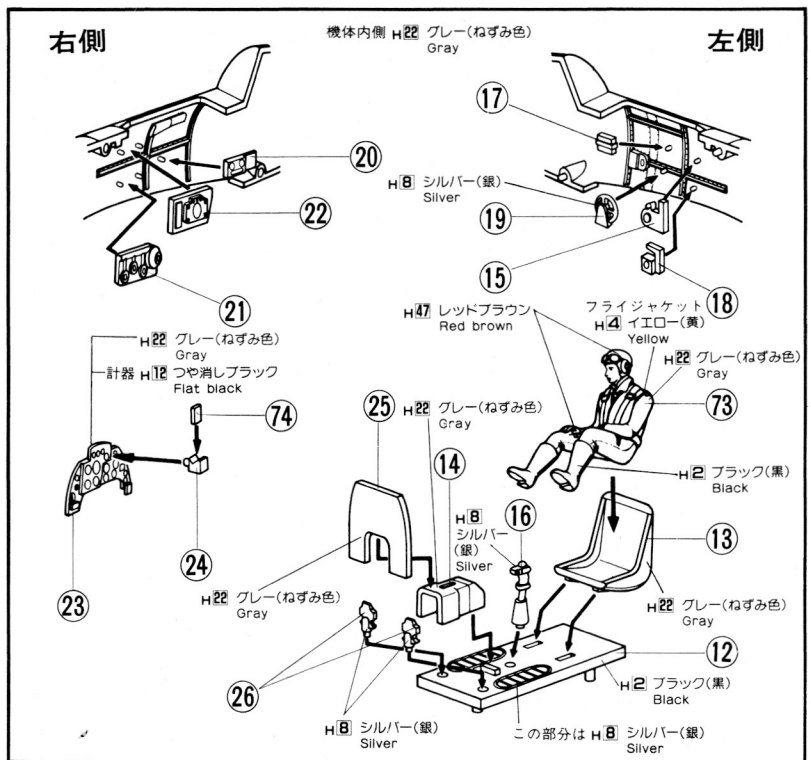
- くみだてるまえに1度説明書をよく読んで下さい。
- せつちやくをするまえに部品のかりくみをして下さい。
- とぞうをする場合は安全な方法を必ず使ってください。
- デカールは、はさみできりと水に10秒くらいつけてからひきだして4面図をさんこうにはって下さい。
- 製作前に部品をよく調べて下さい。
- 万一不良品がありましたら当社迄御連絡下さい。
- H□番号は必ず本姓ホビーカラーの色番号です。



1. コクピット組立

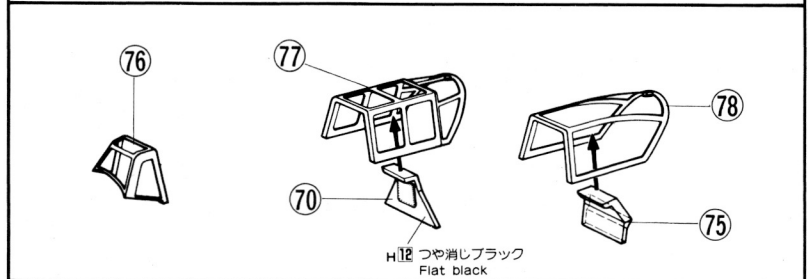
胴体左①右②の内側へ各部品を
図に従って接着します。
照準器⑭へ照準板⑭を接着し、
計器パネル⑮の穴へ接着しま
す。
操縦席床板⑫へシート⑬、操
縦桿⑯、モーターカノンカバ
ー⑰、フートペダル⑱、バル
クヘッド⑲の順に接着し、パ
イロット⑳は最後に取付けま
す。

次の組立てに入る前に裏面の
各型識別用図面及び分類表を
よく参照し、あなたの製作す
る機体を一種決めて下さい。



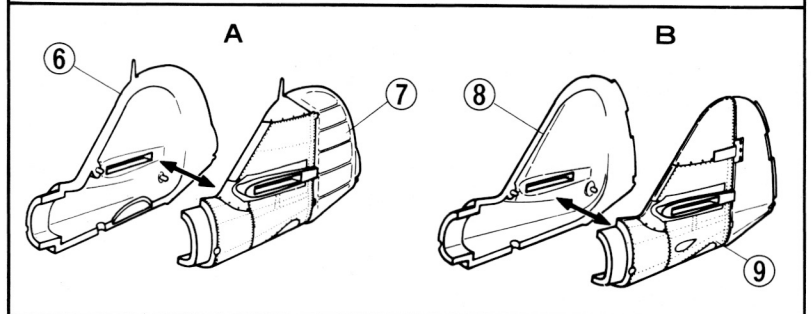
2. 風防の組立

風防後部⑳へ防弾板㉑を接着
します。
ガーランドフード㉒の場合は
防弾ガラス㉓を接着します。



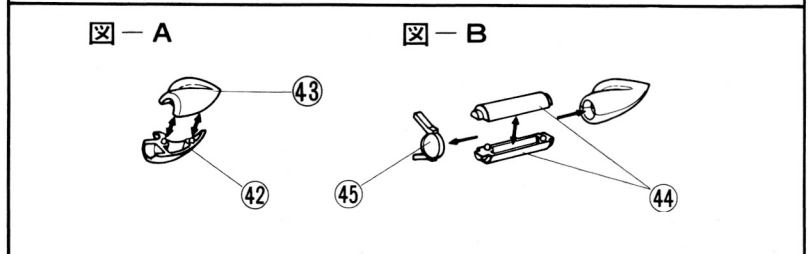
3. 垂直尾翼の組立

垂直尾翼右⑥左⑦を接着しま
す。木製尾翼は B を使用しま
す。



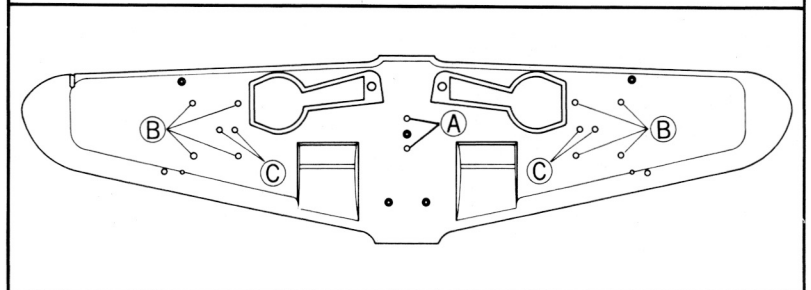
4. エアインテークの組立

エアインテーク下④②、上④③
を接着します。(図-A)
TROPにする場合は熱帯用フ
ィルターを取り付けます。
(図-B)

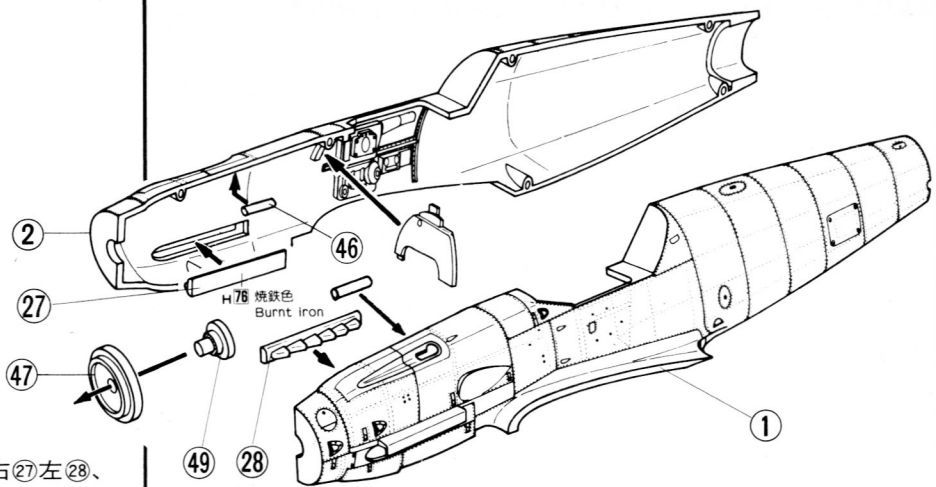


5.

次の場合は、翼下面の穴を貫
通させておきます。
増槽タンク、爆弾付……………A
ロケット弾付……………B
20%機銃付……………C



6. 胴体組立



胴体内側から排気管右②⑧、機銃④⑥及び組立てた計器パネルを接着します。

スピナ部品④⑦へプロペラシャフト④⑧を接着し、(斜線部分だけ接着剤をつける) 胴体片側前部へはめ込み左右胴体を接着します。

7. 翼組立

左右合わせた胴体へ各部品を取付けます。

機銃カバー左⑥⑦右⑥⑧、ループアンテナ⑦①のない機種もあるので注意して下さい。

翼下面⑤へラジエータ部品②⑨を接着してから主翼上面右③④左④を接着し、コクピットを

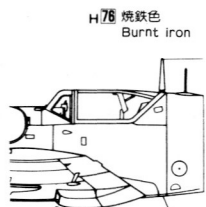
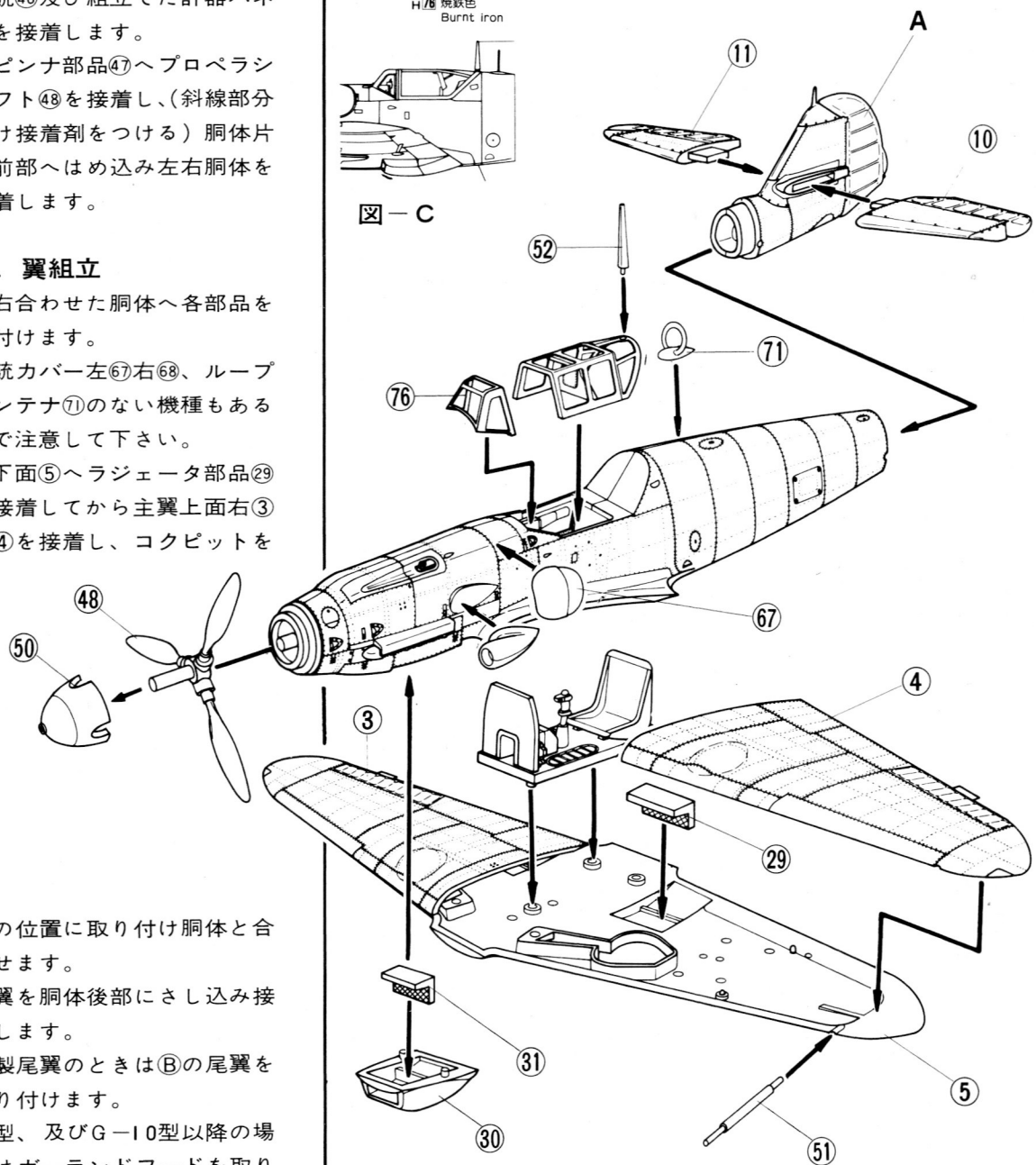


図-C



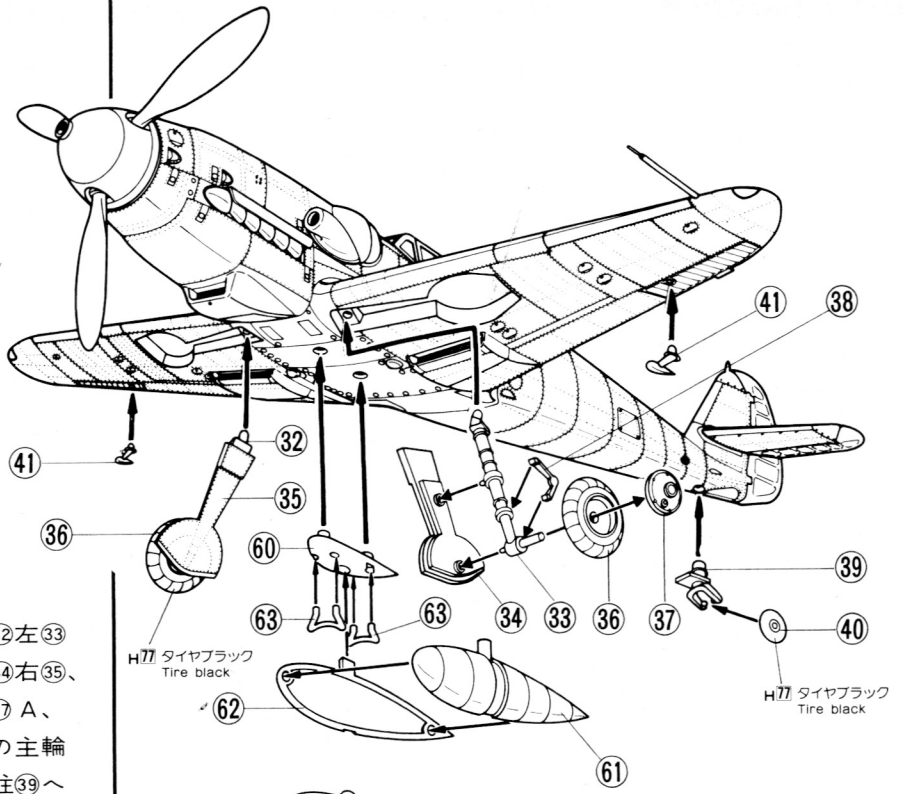
図の位置に取り付け胴体と合わせます。

尾翼を胴体後部にさし込み接着します。

木製尾翼のときはBの尾翼を取り付けます。

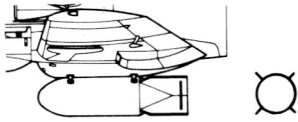
K型、及びG-10型以降の場合はガーランドフードを取り付けます。(図-C)

8. 脚組立その他

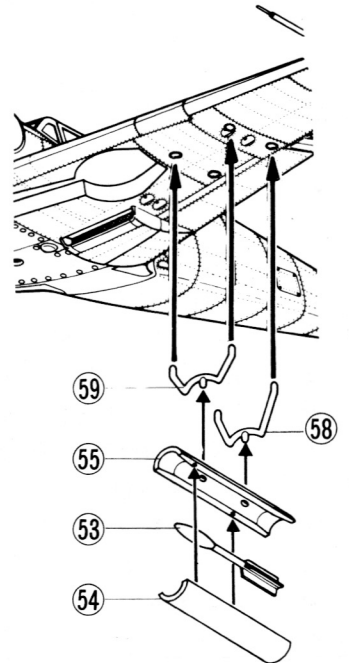
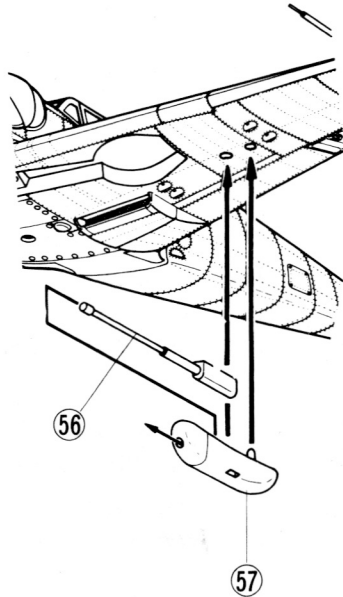
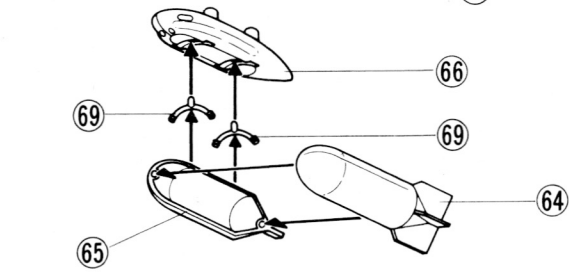


主翼下面へ主輪脚柱右③②左③③を接着、主脚カバー左③④右③⑤、主車輪③⑥、主車輪ハブ③⑦ A、トルクリンク③⑧を左右の主輪脚柱へ接着し、尾輪脚柱③⑨へ尾輪④⑩をはめ尾翼下の穴へ接着します。あなたの選んだ型に従って、増槽タンクか500kg爆弾を取付けます。

爆弾はひれが斜十字になる様取付けます。



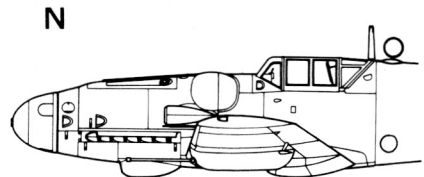
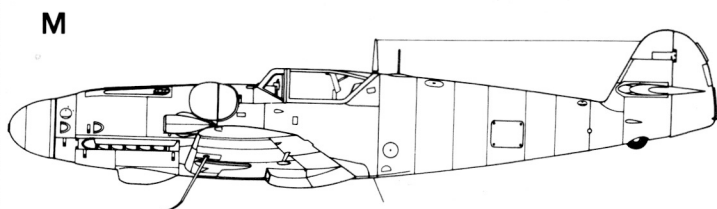
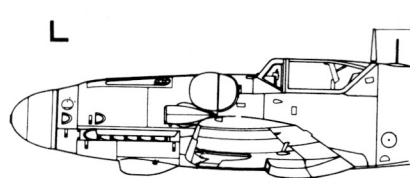
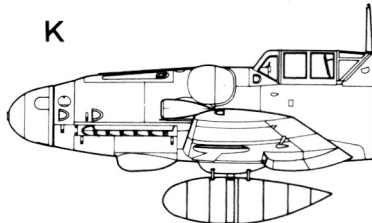
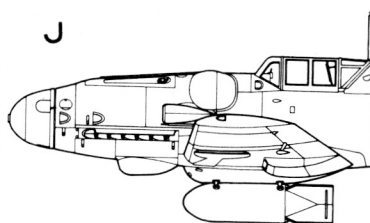
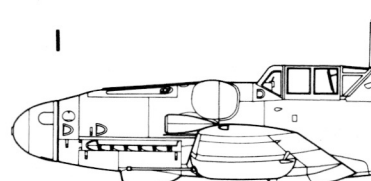
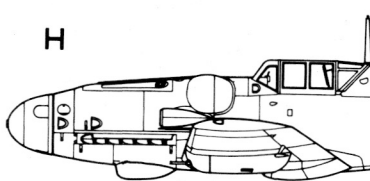
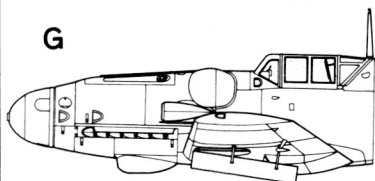
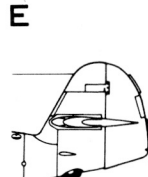
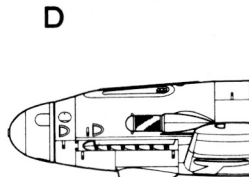
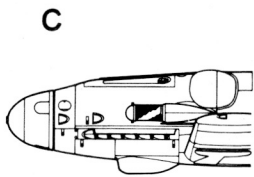
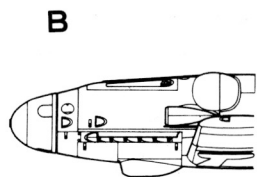
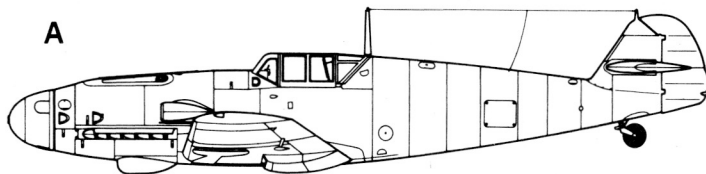
翼下にロケット弾か、20mm機銃を取付ける場合は、図を参考にして左右翼下へ、それぞれ取付けて下さい。



- ★たのしくプラモデルをつくるために
- ◆安全な グンゼ産業 **水性ホビーカー** をつかいましょう。
 - ◆色をぬるときは、必ず窓をあけるようにしましょう。
 - ◆塗料のそばで火をつかわないことを守りましょう。

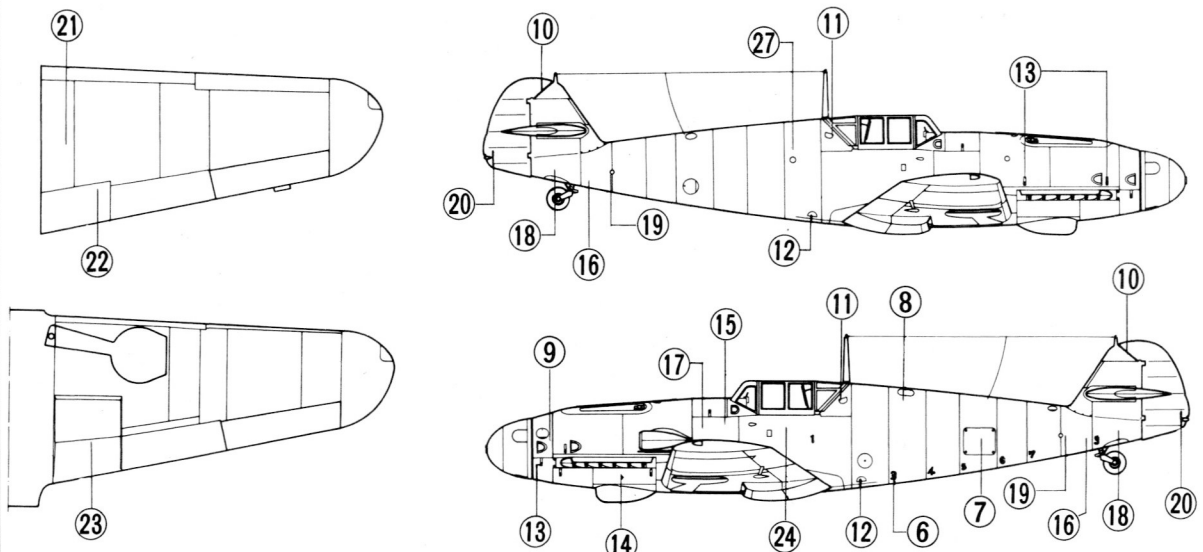
■塗装説明のH77は、グンゼ産業 **水性ホビーカー** の色番号です

Messerschmitt Me 109G~K各型式識別用図面



記号	分類	適用機種
A	G型基本型	G0. G1. G2. G3 G4. G5 G6.
B	13ミリ機銃装備機	G1. G3. G4. G5. G6. G8. G10. G14. K2 K4. K6. K14.
C	同上のTROP	同上
D	7.9ミリ機銃装備機のTROP	G1. G2. G3. G4. G5. G6.
E	木製垂直尾翼 1.	G6U4. G10U4. K6. K14.
F	同上 2.	G5U2. G14U4. K2. K4.
G	21センチロケット弾装備機	G5R2. G6R2. G10R2.
H	30ミリ機関砲装備機	G6R4. G10R4. G14R4 (K型にも有り、但しガーランド風防)
I	20ミリ機関砲装備機	G6R6. G10R6. G14R6 (")
J	500キロ爆弾付	G6R1. G10R6. G14R1. G16.
K	増加タンク付	G~K各型使用可能
L	ガーランドフード付	G10. G14. K2. K4. K6. K14. G16.
M	K型基本型	K2. K4. K6. K14.
N	ナクソスZレーダー装備機	G6U4. G10U4. G14. K2. K4. K6. K14.

デカール説明図

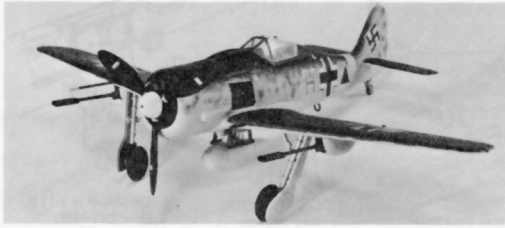


ステンシル及びマークの位置は上図参照（デカールシートの番号に合せて下さい。）

No.	適用	No.	適用
1	国籍マーク、機体及び翼上面	26	機体番号
2	"	27	グリース注入口
3	"	28	第52戦斗航空団、エーリッヒハルトマン少佐機（機種G-14）
4	" 翼下面	29	"、ゲルハルトバルクホルン少佐機（カラー図参照）
5	ナチスマーク	30	撃墜マーク、各種
6	フレーム番号	31	左=JG 52ハンスヴァルトマン中佐機、右 JG 300第2小隊ボルフガングフンドスドルファー軍曹
7	点検用パネルのマーク	32	アフリカ及びイタリヤ戦線用識別帯
8	燃料注入口のマーク	33	JG 5 戦隊マーク（左上=第3、左下=第8、右=第8小隊）
9	オイル注入口のマーク	34	JG 27、第4小隊ハインリッヒバーテル曹長機（赤13の番号と組合せ、機種はG-5）
10	尾翼個定位置のマーク	35	JG 27、第7小隊マーク
11	乗員用の握把	36	JG 26、戦隊マーク
12	乗員用ステップ	37	JG 51戦隊マーク（左下=第2、中下第2、中上第1、右第4小隊
13	カバーストップの位置を示す。	38	JG 5、第2小隊長 カルガニコ大尉機
14	オイルクーラー取扱いの注意書	39	JG 3、戦隊マーク（左中=第2、左下第3、右第1小隊）
15	ネームプレート	40	JG 27戦隊マーク（上から、第3、戦隊本部、第2、第4小隊）
16	ジャッキ支点の表示	41	JG 2 戦隊マーク（下=第3小隊）
17	WE	42	JG 52戦隊マーク（左上=第1、上中第15、右上第3、左下第7、右下 ヘルマングラーフ少佐機、下中第 JG 53 戦隊マーク）
18	タイヤ空気圧の表示	43	JG 54 戦隊マーク（左から、戦隊マーク、第2、戦隊マーク、第9）
19	機体固定用穴の表示	44	JG 1 戦隊マーク
20	オスナ	45	第4クルッベの表示
21	ココニノレ	46	左から、JG 300 戦隊マーク、JG 77 戦隊マーク、同第3、同第1（又は第2 教導飛行団第1小隊）
22	ノルナ	47	機体番号（胴体国籍マーク前）
23	不凍液の表示	48	第2 グルッベ表示（横向き）第3 グルッベ表示（縦向き）
24	風防開閉の注意書	49	JG 11 戦隊第3小隊マーク
25	シリアルナンバー		

Me109G~K 各型データ

	Me109 G~6	Me109 G10	Me109 K~4
全長	9.04m	9.04m	8.94m
全巾	9.91m	9.91m	9.96m
全高	3.40m	3.40m	3.40m
翼面積	16.2m ²	16.2m ²	16.2m ²
全備重量	3,402kg	3,680kg	3,392kg
発動機	DB605A	DB605D	DB605DCM
離昇出力	1,450HP	1,450HP	1,450HP
最大速度	600km/h	600km/h	726km/h
於高度	6,000m	6,000m	6,000m
上昇限度	12,000m	12,600m	12,500m
航続距離	560km	600km	573km
機関砲	20又は30mm×1	30mm×1	30mm×1
機銃	13mm×2	13mm×2	なし
爆弾	なし	なし	250×1



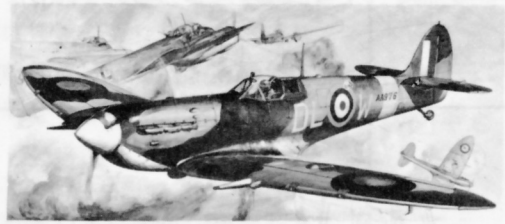
FOCK-WULF Fw190A

第2次大戦を通じてドイツの生んだ傑作戦闘機です。Fw190D型をへてTa152まで発達しました。10種に及ぶコンバーチブルキットです。豊富な転写マーク、カラー塗装図付、ミニベビー使用可



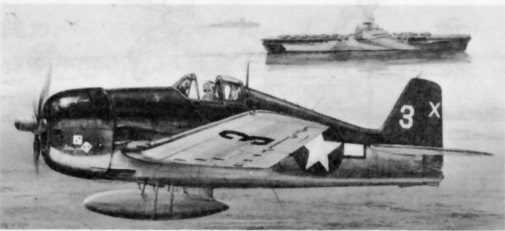
FOCK-WULF Fw190 D-9 "DOAR"

「長っ鼻」の異名をとり大戦末期ヨーロッパの空で猛威をふるいました。ドイツ戦闘機ならこれ一枚でOKというデラックスな転写マーク付、カラー塗装図入、ミニベビーによりプロペラがまわります。



SUPERMARINE SPITFIRE MK.V

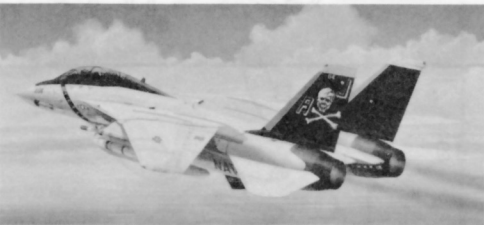
1940年7月に始まった“バトル・オブ・ブリテン”で英国を救ったスピットファイアとハリケーンの名は長く歴史に残るでしょう。VB、VCのコンバーチブルキットです。ミニベビー使用可



GRUMMAN F6F-5 HELLCAT

太平洋戦争における米海軍の代表的な艦上戦闘機。大重量にもかかわらず良好な運動性と高速性は零戦パイロット達をおびやかしました。ミニベビー使用可。

1/48 & 1/72 SCALE FIGHTER SERIES



F-14A トムキャット



三菱F-1 支援戦闘機

1/48 ファイターシリーズ

- F-5A フリーダムファイター
- T-8A タロン
- ノースロップ F-5B
- ダッソー・ミラージュIII C
- ダッソー・ミラージュIII R
- A-4E スカイホーク
- TA-4F スカイホーク
- A-6A インترلーダー
- F-4E ファントムII
- F-4EJ ファントムII
- F-15A イーグル
- F-14A トムキャット(ジョリーロジャース)
- F-1 支援戦闘機
- T-2 高等練習機
- T-2 ブルーインパルス
- F-15C
- F-15J